

平成28年度千葉県社会福祉審議会低所得階層福祉専門分科会
開催結果概要

- 1 日 時 平28年9月6日(火)
午後2時45分から同3時30分まで
- 2 場 所 三井ガーデンホテル千葉 4階「カトレア」
- 3 出席委員 大野トシ子分科会長、大坪紘子委員、
小島信夫委員、齊藤守委員、白戸章雄委員
(委員：総数7名中5名出席)

4 会議次第

- (1) 開 会
- (2) あいさつ
- (3) 報告事項
- ア 千葉県子どもの貧困対策推進計画について
- イ 千葉県ホームレス自立支援計画改定版について
- (4) 閉 会

5 議 事

ア 千葉県子どもの貧困対策推進計画案について

- ① 事務局説明
別添「資料」により説明
- ② 主な意見及び質疑応答

(意見)

重要なのは計画の運用なので、各窓口のスタッフに計画についてよく理解してもらい、どこの窓口にも相談に行ってもある程度同じように答えてもらえるようになるよう、よく教育をしていただきたい。

また、支援を受けたい人にこういった制度があるということを周知していく必要がある。

(意見)

子どもの貧困の場合、家庭が貧困かどうかわかるのは学校などではないか。民生委員等のところは相談に行く人は行くが、外部から見て「この人は相談を受ける必要があるのではないか」と感じるのは、学校や保育園等においてなので、そこから「ここに相談に行けば相談に乗ってもらえるよ」と促すことも必要である。そのあたりも、すでに実施しているかもしれないが、検討をお願いしたい。

(意見)

明らかに支援が必要だと思われる家庭があっても、なぜそのことを知ったのかということが問題となるため、民生委員等から出向いて支援することは難しい。

こういった様々な支援があるということを、いろいろな所に周知して、「相談してみようかな」と思ってもらうことが必要なので、周知についてお願いしたい。

(意見)

PRの方法として、新聞などはとっていない人も多いので、市町村だよりや回覧板等を使用するとよいのではないか。

イ 千葉県ホームレス自立支援計画改定版について

(質問)

計画は策定したが、実際に自立支援までやっていくのは大変なことなのではないか。

(回答)

ホームレスの方が働くところまで持って行くのは大変だと思うが、市町村でも取組が進んでおり、特に、市川市、松戸市等ホームレスの多い市では市の問題として捉え、力を入れて取り組んでいる。

(質問)

市川市には無料定額宿泊所はどれくらいあるのか。

(回答)

2施設です。

(意見)

資料で、ホームレスの数が平成15年には約2万5千人から平成27年は約6千5百人になっている。平成15年というとバブルがはじけた時期であり、経済環境の変化が大きいのではないかと思う。経済環境をよくすることが、重要ではないかと思う。

以上